

## 後期教養教育科目の履修計画イメージについて

本運営委員会では、学生の皆さんが 900 科目以上ある後期教養教育科目から学部・研究科等横断的に履修を計画する際、参考となる履修計画イメージを作成しました。これらは、あるテーマに従って後期教養教育科目を取る際の出発点としての例示であり、各テーマに記載されている関連科目をすべて取ることを必須としているわけではありません。後期教養教育科目は修了証や認定証は発行されません。1科目でもよいので、皆さんの積極的な履修を願ってこの履修計画イメージを作成しました。最終的には、これらのイメージを参考に学生の皆さんがそれぞれ独自の履修計画を作ってくださいを願っています。

## 後期教養教育科目運営委員会

テーマ	科学・技術と社会／科学技術倫理	
概要	最先端科学技術とその社会への展開は、近年極めて急速におこなわれるようになったため、その倫理的・法的・社会的側面(ELSI)の問題の量と質が深刻化している。本テーマでは、この時代を生き抜くため、最先端科学技術の担い手である理系人材にせよ、社会への影響を考える文系人材にせよ、総合的に考える機会を設けることを狙いとしている。	
関連科目	工学部	生命科学概論, 技術論, 先端技術と社会特別講義 I [2026 年度不開講], 先端技術と社会特別講義 II
	文学部	応用倫理概論(応用倫理入門), 応用倫理演習(応用倫理文献講読) [2026 年度不開講], 応用倫理特殊講義 III(食べることと環境の倫理)
	理学部	情報社会及び情報倫理, 生物情報学基礎論 I, 生物情報学基礎論 II
	農学部	食の安全科学, 放射線環境学
	教養後期	科学技術社会論
	薬学部	薬事法・特許法
	医学系 研究科	医学共通講義 VII(神経科学入門)
キーワード	最先端科学技術の倫理的・法的・社会的側面(ELSI)	
得られるスキル・知識	ELSI についての最先端の知識	
何をめざすひとに有効か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域の専門家・市民と科学技術を結ぶ人材を目指す人, 科学技術政策の専門家。</li> <li>・科学技術と社会の関係に関心をもつ人。</li> <li>・最先端科学技術者として, 自らの分野の倫理的・法的・社会的側面について考えたい人。</li> </ul>	

テーマ	こころ	
概要	こころの成り立ち, こころの健康について, 生物学的仕組みから社会への枠組みを俯瞰する。	
関連科目	医学部	心の健康科学
	工学部	脳科学入門
	文学部	社会心理学概論 I(社会・集団・家族心理学)
	医学系 研究科	医学共通講義 VII(神経科学入門)
キーワード	心の健康, ストレス, 脳, 社会	
得られるスキル・知識	こころの仕組みや動きについて, 多階層の視点を持つことが期待される。	
何をめざすひとに有効か	こころの仕組みや動きについて, 広い視点をもつことで研究や業務に生かしたいと考えるひと。	

テーマ	人が生きている社会	
概要	人が生きること, 死ぬことの意味を様々な視点から考え, また, 社会がそこへどのように関わるかについて考えるためのきっかけとなるテーマ。	
関連科目	医学部	社会福祉・社会保障論, 社会と健康
	文学部	死生学特殊講義 I(臨床死生学・倫理学の諸問題 XI), 死生学特殊講義 II(臨床死生学・倫理学の諸問題 XII)
キーワード	生, 死, 社会, 医療	
得られるスキル・知識	生死, 医療について, 統合的知識の基盤を得る。	
何をめざすひとに有効か	生死と医療について死生観と社会システムという観点から興味を持つひと。	

テーマ	社会のエンジニアリング	
関連科目	医学部	社会福祉・社会保障論
	工学部	経済工学 I, 経済工学 II
	文学部	社会心理学概論 I(社会・集団・家族心理学), 社会心理学概論 II(社会心理学概論)
	経済学部	ゲーム理論
	教養後期	広域システム概論 I
	教育学部	教育社会学概論
	新領域	システムアーキテクチャ
キーワード	社会制度設計, 社会モデル, 社会的意思決定	
得られるスキル・知識	現実の社会現象のメカニズムを解明し, 社会問題解決を行う能力。	
何をめざすひとに有効か	社会工学分野の研究者, コンサルタント企業を目指す人。	

テーマ	「いのち」の科学	
関連科目	医学部	社会と健康
	工学部	生命科学概論
	文学部	死生学概論(死生学の射程), 死生学特殊講義 III(臨床死生学特論)
	教養後期	進化理論
キーワード	生命科学, 生態科学, 死生学	
得られるスキル・知識	生命に関わる技術や課題に取り組む際の考え方を学ぶ。	
何をめざすひとに有効か	ライフサイエンス研究者や関連企業を目指す人。	

テーマ	データサイエンス, 物理化学あるいは社会科学などのための数学基礎	
関連科目	工学部	数理手法 II, 数理手法 III, 数理手法 IV, 数理手法 VII
	理学部	数学講究 XB, 数学史, 代数学 XC (本郷), 幾何学 XC(本郷) [2026 年度不開講], 応用数学 XC(本郷), 解析学 XC(本郷), 確率統計学基礎, 確率統計学 XF, 確率統計学 XC, 保険理論, 数理科学統論 I, 数理科学統論 J
	教養後期	確率統計 II
キーワード	数学, 数理科学	
得られるスキル・知識	専門分野を学ぶのに数理的な素養を学び直したい学部生・院生。	
何をめざすひとに有効か	数理的手法を用いる分野の研究者, 実務者。	

テーマ	健康の科学	
概要	健康が単に身体的・医学的な要因に基づくのみでなく, 人々に対する信頼や社会的活動などの社会的要因によって左右されることは, よく知られるようになってきた。このテーマでは, 身体的／精神的健康に関して, 自然科学／人文・社会科学の垣根をこえた知識を吸収する。	
関連科目	医学部	社会と健康
	文学部	文化人類学(社会・文化人類学と民族誌)
	農学部	人口と食料, 生物の多様性と進化
	薬学部	創薬科学, 医薬品情報学
キーワード	身体的健康, 精神的健康, 社会的要因	
得られるスキル・知識	身体的・精神的に健康に生きるため, 文理の垣根を越えた知識を獲得する。	
何をめざすひとに有効か	心身ともに健康な学生生活を送りたい人。	

テーマ	テキスト言語の科学	
概要	古典的・テキストの理解／解釈に重点を置く，従来の伝統的・人文主義的な方法に加えて，テキストをビッグデータとして捉え，これを自然言語処理の観点から分析する情報学的な視点をも取り入れて，テキストに対する質的／量的な研究方法を架橋できるようにする。	
関連科目	工学部	情報工学概論
	文学部	中国語学中国文学演習 II(古典詩文入門)
	理学部	Python プログラミング入門，データマイニング概論
	教養後期	テキスト精読法，テキスト文化論基礎，テキスト文化論演習
キーワード	テキスト，人文学，情報学	
得られるスキル・知識	人文学および情報学の観点から質的・量的にテキストを研究する手法。	
何をめざすひとに有効か	文系・理系を問わず言語と意味の関係に関心を持つ人。	

テーマ	世界の課題を知る	
概要	専門課程で学んだことを活かす場は世界に広がっている。そこは，日本国内とは比較にならないほど，自然も，社会も，人々も多様である。後期教養科目の聴講を通して国際社会が抱える課題を理解し，自らの位置づけをあらためて考えることによって，活躍の場をさらに広げてほしい。	
関連科目	法学部	比較政治 II(発展途上国の政治)
	工学部	多文化理解プロジェクト，エネルギーと社会
	農学部	人口と食料，国際開発実践論
	経済学部	開発経済 I
	教養後期	異分野交流・多分野協力論
キーワード	グローバル・パートナーシップ，社会貢献，SDGs	
得られるスキル・知識	国際社会の共通の課題を理解し，自分の専門分野を活かしたその解決策や限界を考える力を養う。	
何をめざすひとに有効か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府や国際機関で国際協力に貢献したいと考える人。</li> <li>・自分の専門分野と社会の繋がりを常に意識したい研究者を目指す人。</li> </ul>	

テーマ	分子から見る多様な世界	
概要	動物や植物の生命現象の維持や制御には，多様な分子が関わっている。薬・農薬・生体材料を含む多くの分野にまたがる生命関連の分子科学を，総合的に理解することによって，複雑な生命現象を分子レベルで俯瞰する視点を獲得する。	
関連科目	工学部	生命科学概論
	農学部	化合物の多様性と生理機能 I，化合物の多様性と生理機能 II
	教養後期	物質科学概論
	薬学部	創薬科学
	医学系 研究科	医学共通講義 VII(神経科学入門)
キーワード	分子科学，有機化学，生命科学，ケミカルバイオロジー	
得られるスキル・知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学，生化学，分子生物学，分子イメージング。</li> <li>・動物や植物の生命現象を分子レベルで理解し，病気の制御についても学ぶ。</li> </ul>	
何をめざすひとに有効か	ライフサイエンス研究者，製薬企業の研究者，医師，薬剤師，獣医師。	

テーマ	技術と企業経営・経済成長	
関連科目	工学部	技術論, 先端技術と社会特別講義 I [2026 年度不開講], 先端技術と社会特別講義 II, アントレプレナーシップ I, アントレプレナーシップ II
	経済学部	技術経営 I, 日本経営史 I
	教養後期	科学技術社会論
キーワード	技術革新(イノベーション), 企業経営, 起業(アントレプレナーシップ)	
得られるスキル・知識	先端技術を企業経営にどのようにして取り込むかを知ることができる。社会のイノベーションを促進させる施策について学ぶことができる。	
何をめざすひとに有効か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の企業の技術に対する取り組みを内部から改革することを考えている学生。</li> <li>・先端技術をベースに起業を計画している学生。</li> <li>・技術革新が主導する経済成長や生活の改善に、政府や国際機関の立場から取り組みたいと考えている学生。</li> </ul>	

テーマ	「都市論」の構築のために	
概要	<p>近現代社会においては多くの国で都市が重要な役割を果たしている。学問の対象としての自然・文化・社会は、近現代という時代においてこの都市化という現象とさまざまな関わりを持っている。</p> <p>自然科学・人文科学・社会科学のいずれもが都市という観点から分析され得るのであり、また逆に都市にはそのように横断的な理解が必要である。</p> <p>『「都市論」の構築のために』は、都市を論じるために要請される多様な観点と知見の習得を可能にする科目群構成をその背景としている。</p>	
関連科目	工学部	生態学・生態工学, 都市計画概論, 都市居住概論, 都市交通論, 都市・まちづくりと法, 都市経済, 都市社会論
	教養後期	テキスト文化論基礎, テキスト文化論演習
	教育学部	社会教育論 II
キーワード	都市, 都市社会学, 都市モデル, 都市工学, 都市論	
得られるスキル・知識	都市を論じるための多様な観点と知見。	
何をめざすひとに有効か	ひろく都市にかかわる研究を目指す人。	

テーマ	ケアと AI～幸せの科学	
概要	<p>超高齢化社会が進むと同時に、福祉の現場では慢性的な人手不足になっている。一方で、技術の進歩は目覚ましく、物理的な支援を可能にする介護ロボットの導入だけでなく、コミュニケーションも可能な AI を搭載したロボットの開発も進んでいる。こうした技術進歩が、介護・福祉をされる側、する側双方にとっていかなるメリットやデメリットを持つのか、技術や思想等、複眼的な視点で考える。</p>	
関連科目	工学部	先端技術と社会特別講義 I [2026 年度不開講], 先端技術と社会特別講義 II
	文学部	応用倫理概論(応用倫理入門), 死生学特殊講義 IV(関係的な自律論:現代行為論・自由論の一展開)
	教養後期	科学技術社会論
	教育学部	ダイバーシティ・インクルージョン概論

テーマ	クリエイティビティの科学	
概要	創造的な活動は起業的なものから芸術的なものまで多様な領域がある。一口に創造性というが、多様な活動における創造性にはどのような共通点や相違点があるのか、最新の脳科学の知見も活用しながら、そのメカニズムに迫る。	
関連科目	工学部	脳科学入門, アントレプレナーシップ I, アントレプレナーシップ II, メディアコンテンツ特別講義 II
	文学部	芸術学概論(芸術学の基礎概念)
	教養後期	比較芸術論 II

テーマ	学問・技術の歴史と現在	
関連科目	法学部	東洋法制史
	工学部	技術論
	理学部	数学史
	教養後期	科学技術社会論
キーワード	歴史, 技術, 学問, 制度, 概念形成	
得られるスキル・知識	諸分野に即した固有の歴史的状況を相対的に把握する能力。	
何をめざすひとに有効か	現象の背後にある歴史的成立過程を見据えつつ未来を構想する素養を身につけたい人。	

テーマ	情報とデータ	
関連科目	工学部	情報工学概論(インターネット工学), 数理手法 VII
	理学部	確率統計学基礎, データマイニング概論
	薬学部	医薬品評価科学
キーワード	統計, 情報, データ	
得られるスキル・知識	数値的あるいは非数値的な, データ・情報を扱うリテラシー。	
何をめざすひとに有効か	ビッグデータとは何かを理解し, また統計データに基づく判断力を身につけたい人。	

テーマ	技術と法・倫理	
概要	科学技術とその社会への展開は、まず技術が生まれてから種々の事例を経て、社会のコンセンサスを得、それに基づく法・倫理が形成されていくのがこれまでの歴史であった。この流れは今でも変わらないが、情報技術の導入等により技術展開が極めて急速になった結果、法・倫理の形成までの間に起こる問題の量と質がより深刻化する傾向にある。本テーマでは、この時代を生き抜き発展させる人材となるために、最先端技術を志す理系人材にせよ、その社会受容を考える文系人材にせよ、技術をどのように社会で受け止めるかを総合的に考える機会を設けることを狙いとしている。	
関連科目	法学部	法哲学, 法社会学
	医学部	社会福祉・社会保障論
	工学部	生命科学概論, 技術論, 脳科学入門
	文学部	応用倫理概論(応用倫理入門)
	理学部	情報社会及び情報倫理, データマイニング概論
	農学部	食の安全科学
	教養後期	科学技術社会論, スポーツ科学概論

テーマ	金融と IT テクノロジーの活用(FinTech)	
概要	金融と IT を巡る FinTech が注目されているが、将来、金融機関やベンチャー企業で働きたいことを考えている学生にとっては、金融のみならず、工学・プログラミング、法律学、社会論、起業論など幅広い分野にかかわる素養を必要とするため、これらをイメージ化したもの。	
関連科目	法学部	法社会学
	工学部	アントレプレナーシップ I, アントレプレナーシップ II, 経済工学 I, 経済工学 II
	理学部	Python プログラミング入門, データマイニング概論
	教養後期	科学技術社会論
キーワード	FinTech, ベンチャー, データサイエンス, 金融	
得られるスキル・知識	金融分野における IT 活用に関する在り方, 現状, 考え方を学ぶ。	
何をめざすひとに有効か	金融分野における IT 事業関連企業を目指す人, 関連研究者。	